

平成25年11月23日
選手強化委員会

ナショナルチーム編成基準要綱（H26年度版）

（目的）

1. この要綱は、公益社団法人日本ライフル射撃協会（以下「協会」という。）が、射撃競技の国際競技大会に於いて、メダルを獲得し得る選手の強化を図るために編成するナショナルチームの基準に関して必要な事項を定めることを目的とする。
2. この要綱はH26年度1年間運用し、運用の結果、見直しを行いH27年度以降の要綱を改めてH26年度に定めることとする。

（用語の定義）

3. この要綱で使用する用語の定義を次のように定める。
 - （1）「ナショナルチーム」とは日本を代表し、国際競技大会に於いて、メダルを獲得し得る選手の強化を図るために編成されたチームのことをいう。チームはナショナルコーチ（含むアシスタントナショナルコーチ）、JOC専任コーチングディレクター、ナショナルチーム選手、ナショナルチームスタッフにより構成され、選手強化委員会のもとに設置される。
 - （2）「ナショナルチーム選手」（以下NT選手という）とは、日本を代表する国際的な競技力と人格見識、及び旺盛な向上心を有し、かつ協会から認定を受けたものをいう。
 - （3）NT選手は、以下のカテゴリーに分類される。

<ライフル>

ライフルについては、カテゴリーを設けない。毎回ベストメンバーでの派遣を実施したいので、NT選考対象試合の結果を優先した選考を実施する。

<ピストル>

AカテゴリーとBカテゴリーに分類される。

Aカテゴリーは、オリンピック競技大会、世界選手権大会、ワールドカップ大会で入賞以上の成績を残した場合に即時認定される。

Aカテゴリーの任期は指定された年度及びその翌年度の2年間、Bカテゴリーは指定された年度の1年間とする。

（4）「ナショナルチームスタッフ」（以下NTスタッフという）とは、理事会により任命される選手強化委員会委員やナショナルチームの技術的サポート、情報戦略サポート等を担当するものをいう。

（編成）

4. ナショナルチームの編成は、上記2で述べたナショナルコーチ、JOC専任コーチングディレクター、NT選手、NTスタッフをもって構成する。

- (1) ナショナルチームの編成の年度は、毎年4月1日より翌年3月31日までの協会活動年度と同じ期間とする。
- (2) 選手強化の重点はAカテゴリー、Bカテゴリーの順とする。
- (3) 選手の総数はライフル・ピストル各15名以内を限度とする。

(対象種目)

5. ナショナルチームの対象とする競技種目は以下の通りとする。

<ライフル> 5種目

(1) 男子

50m ライフル 3 x 40、50m ライフル伏射、10m エアライフル

(2) 女子

50m ライフル 3 x 20、10m エアライフル

<ピストル> 5種目

(1) 男子

50m ピストル、10m エアピストル、25m ラピッドファイアピストル

(2) 女子

25m ピストル、10m エアピストル

(選手の選考)

6. NT選手の選考は以下の手順で選手強化委員会で決定し、理事会へ報告される。

<ライフル>

(1) 選考対象となる試合

- ・協会及びJOCが派遣を行った国際競技大会等
- ・第一回NT選考会(50m&10m、ダブルマッチ) H26年4月予定
- ・第二回NT選考会(50m&10m、ダブルマッチ) H26年5月予定
- ・第三回NT選考会(50m&10m、ダブルマッチ) H27年3月予定
- ・全日本選手権(50m、10m)
- ・全日本選抜(50m、10m)

選抜方法

上記の国内試合5試合計8回の記録ならびに国際競技大会等の記録の内、上位5回の記録の平均点順位による順位表を作成し、上位者をNT選手とする。平均点の整数値が同点の場合は、最近の試合の点数が高い選手が優遇される。

コーチ推薦は実施しない。

国際競技大会等の点数に関しては、予選も本選も対象試合とする。

なお、H26年度は、初年度の処置としてスタートをH25年9月NT選考会から対象記録とし、H26年4月の第一回NT選考会が終了した時点でNT選

手を選定する。よって4月の選定の際の、選手選考の対象試合は、以下となる。

- ・H25年9月（H26年度）NT選手選考会
- ・H25年11月全日本選手権（50m）&全日本選抜（10m）
- ・H26年3月全日本選手権（10m）&4月全日本選抜（50m）
- ・H26年4月第一回NT選考会

上記試合、計6回の記録の上位3つの記録の平均点上位から選定する。

なお、H25年9月からH26年4月の選定までの海外派遣試合に参加した選手の成績は上記試合に加える。

<ピストル>

（1）選考対象試合

- ・協会及びJOCが派遣を行った国際競技大会等
 - ・全日本選手権
 - ・全日本選抜
 - ・全国春夏秋冬ピストル大会（ただしエアピストルは除く）
 - ・エアピストルNT選考会【新設】（長瀬、ダブルマッチ）冬、春P大会後実施
- なお、国際競技大会等については、予選本選ともに対象試合とする。

（2）選抜方法

毎年12月に過去1年間の対象試合で海外派遣基準をクリアしたものをNT選手として選考する。海外派遣基準は、海外派遣の項目を参照のこと。

コーチ推薦に関しては、基準をクリアする選手が少ない場合等に、専任コーチングディレクター推薦の選手を若干名追加することがある。

当年度Aカテゴリーに属している選手が競技会に不参加または成績不振であった場合は、翌年度Bカテゴリーで残留する。

（派遣競技会）

7. 派遣選手の選考については、理事会の承認を受けた本要綱に基づいて選手強化委員会で決定し、理事会に報告する。

協会及びJOCが派遣を行う国際競技大会等の代表選手は原則として、Aカテゴリー選手、次いでライフルは7.（2）（イ）で選考された選手、ピストルはBカテゴリー選手をもってあてる。

（1）オリンピック競技大会への派遣については以下の通りとする

- （ア）**ピストルについては**国別出場権（QP）を獲得した選手が、オリンピック開催年度のNT選手である場合は、その選手を代表選手とする。そうでな

い場合は、別途選考会を開催して決定する。この選考会については別途定める。

ライフルについては、オリンピック開催前年のWC 4大会がすべて終了した時点で、該当種目ランキングトップの選手を代表選手として認定し、1年間オリンピックに向けた強化を実施する。その後に開催されるアジア選手権でQPを獲得した場合は、獲得選手を代表選手とする。

(イ) 代表選手の出場種目は選手強化委員会がそれを決定し、代表選手名簿とともに理事会に報告する。

(2) その他の国際競技大会派遣については、以下の順に選考する。

(ア) 国際競技大会派遣に関して、Aカテゴリー選手は特段の事情が無い限り常に派遣される。

(イ) ライフルは、H26年度は以下要領で派遣選手を選考する。

なお、国際競技大会派遣を希望する者は派遣選考対象試合となる直近のNT選考会には出場しなければならない。

・ 3月WCフォートベニング

基本派遣予定なし

・ 6月WCミュンヘン、WCマリボル（スロベニア）

H25年9月NT選考会、11月全日本選手権（50m）&全日本選抜（10m）、3月全日本選手権（10m）&4月全日本選抜（50m）、第一回NT選考会の6回の成績上位3つの平均点が高い者から順に、派遣枠人数に達するまで選考する。

なお、H25年9月からH26年4月までの海外派遣試合に参加した選手の成績は上記試合に加える。

・ 7月WC北京

上記の試合にWCミュンヘン、マリボル、第二回NT選考会の記録を加え、成績上位5つの平均点が高い者から順に、派遣枠人数に達するまで選考する。

・ 9月世界選手権

上記の試合にWCミュンヘン、マリボル、北京の成績を加え、上位5回の成績平均点で選考する。

・ 10月世界大学（2015年ユニバシアード大会も同様の考え方とする）

2014年の世界選手権、WC出場選手で2015年ユニバシアード大会出場資格のある選手（現役または卒業1年以内）は、自動的に選ばれる。上記選手で派遣枠に満たない場合は、MPA部会の選考基準により選考される。

- (ウ) ピストルBカテゴリー選手については、直近ワールドカップ3試合の成績ならびに派遣対象となる海外試合の直近の国内指定試合2試合の成績で海外派遣基準をクリアしている場合は派遣される。派遣枠人数に満たない場合は、上記成績をもとにコーチ推薦により追加決定する。

海外派遣基準は以下の通り

	F P	R F P	A P M	A P W	S P W
A基準	559	580	580	383	582
B基準	555	575	577	380	578

注：A基準は1回達成、B基準は2回達成でクリアとなる。

- ・ 3月WCフォートベニング
基本派遣予定なし
- ・ 6月WCミュンヘン、WCマリボル（スロベニア）
2013年WCフォートベニング・ミュンヘン・グラナダ・ファイナルの成績に加え11月全国秋季大会（25m・50m）、2月全国冬季大会（25m・50m）とNT選考会（10m）、3月全日本（10m）の各種目2回（10mは3回）の成績。
H25年10月からH26年4月までの海外派遣試合に参加した選手の成績は上記試合に加える。
- ・ 7月WC北京
2013年WCグラナダから2014年WCミュンヘン・マリボルまでの海外派遣試合の成績に加え2月全国冬季大会（25m・50m）、5月全国春季大会（25m50m）とNT選考会（10m）の各種目2回の成績。
- ・ 9月世界選手権
WCミュンヘン、マリボル、北京の成績を加え、5月全国春季大会（25m50m）、7月全国夏季大会（25m50m）とNT選考会（10m）の成績。（エントリー期限の関係で7月の全国夏季大会・NT選考会の結果を待てない場合は、上記WC3大会記録に加え、2月全国冬季大会（25m50m）、5月全国春季大会（25m50m）とNT選考会（10m）記録で決定する。）
- ・ 10月世界大学
選考についてはライフルと同様。

(ナショナルチームのトレーニング計画等)

8. ナショナルチームは、その最終目標をオリンピックでのメダル獲得とする。ナショナルコーチ、JOC専任コーチングディレクター、NTスタッフは長期及び短期の目標を常に掌握し、NT選手は平素から射撃競技の代表としての自覚を持ち、自己練磨に努めるとともに、計画された強化合宿に参加するものとする。
- ・ナショナルチームライフル、ピストル合同合宿を期首と期末の年2回開催する。期首の合宿では、チームビルディング、メンタルトレーニング、アンチドーピングを主体とした研修を行うと共に、個々人の年間の目標設定を行う。この目標は記録され、適宜進捗を選手強化委員会がチェックする。期末の合宿では、年間の振り返りを実施し、来期に向けた取り組み目標を明らかにする。
 - ・期中は、ライフル、ピストル各カテゴリー毎に合宿、訓練を実施する。選手とコーチ陣が合意した目標設定への進捗や課題を個人別に分析して、適切なアドバイスやサポートを実施する。JISS射撃場や長瀬NTCを有効活用し、フィジカルトレーニングや科学的なサポートが実施できる環境整備を行い、選手が射撃技術のコーチングだけでなく多方面からサポートが得られるように改善していく。
 - ・SB弾、AR弾のロット選定や映像分析、動作解析など科学的アプローチで選手の得点向上をサポートしていく。

(ナショナルチーム員の資格停止)

9. 以下の事項に該当するものは、NT選手の資格を停止するものとする。
(一般選手については、NT選考会に参加できないものとする。)
この措置は即時実施される。
- なお、NT選考会への復帰の期限は、別途選手強化委員会で定める。
- (1) 特別な事情なくまたは無断でナショナルチーム合宿を欠席したもの。
 - (2) 選手強化委員会の指導方針に反して故意に反発したもの、もしくはチームの秩序を乱したもの。
 - (3) ナショナルチームの目的に反する行動を意図的に取り、選手強化委員会の是正の求めに応じないもの。
 - (4) ドーピング防止規程に違反し競技者資格を停止されたもの。
 - (5) ドーピング防止規程に定める居場所情報提出義務を怠り、競技外検査を過去18か月間に2回忌避したとみなされているもの。

(ランキング)

9. ランキングは以下の考え方で集計し協会ホームページに公表する。
1年間ローリングでランキング対象試合の記録を集計し、ベスト3の平均値順で発表する。

付則

1. この要綱は平成 25 年 9 月 15 日から実施される。
2. この要項は平成 25 年 11 月 23 日に改訂された。